

Monthly

| Yamagata North Rotary Club 2025-2026 |

国際ロータリー第2800地区 山形北ロータリークラブ

Rotary
District 2800



REPORT

June 2026

よいことの
ために
手を取りあおう

第2720回

会員卓話

近野聡子会員

第2721回

会員卓話

富塚充直前会長

第2722回

一年を振り返って

野村百合子会長・岡誠司幹事

第2723回

最終例会

私を一年間支えてくださった、岡誠治幹事には
大いに飛躍していただきたいと思います。
「躍」を揮毫いたしました。

出逢いは宝 未来につなごう

2025~2026年度 山形北ロータリークラブ会長

Yuriko Nomura

野村百合子

SINCE
1968
58th
YAMAGATA NORTH RC

2800 地区のテーマ | 良い事をしよう。地域で、世界で、未来のために
山形北ロータリークラブのテーマ | 出逢いは宝、未来につなごう

会長／野村百合子 | 幹事／岡 誠司 | 事務所／山形市十日町 1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル 2F 電話 090 -1445 - 4120 FAX 626 - 4422

第2720回 2026年（令和8年）6月4日（木） 12：30 PM 場所：ホテルメトロポリタン山形

会員卓話 近野聡子会員



Konno Satoko

本日の卓話は、ニコニコ英会話を主宰されている近野聡子会員より、「英語を苦手にならない学び方」についてお話いただきました。

近野会員は、現在の学校英語において、単語を何度も書いて覚える学習法が依然として行われていることに疑問を呈し、「英語は暗記ではなく、音から学ぶことが大切」と強調されました。

また、大学入試では英語の配点が非常に高く、多くの大学で合否を左右する重要科目となっていることから、英語力を身につけることは将来の選択肢を広げる大きな武器になると説明されました。英語が得意になれば、他教科の学習に時間を充てられるという利点もあるとのことでした。

特に印象的だったのは、「フォニックス」の重要性についてのお話です。フォニックスとは、文字と発音の関係を学ぶ方法で、英語圏の子どもたちも必ず学ぶ基礎的な学習法です。単語を丸暗記するのではなく、音のルールを理解することで、多くの単語を自力で読めるようになるという考え方は大変興味深いものでした。

さらに、中高生が英語の成績を伸ばすための具体的な方法として、「毎日教科書を音読すること」を紹介されました。音声を聞きながら繰

り返し音読し、最終的にはシャドーイングができるレベルまで練習することが効果的とのことでした。

最後に近野会員は、日本人が英語を話せない最大の理由は語彙力不足ではなく、「間違えてはいけない」という意識や恥ずかしさにあると指摘されました。完璧な英語を目指すのではなく、まずは伝えようとする気持ちが大切であり、「出川イングリッシュ」に代表されるような積極性こそが英会話上達への第一歩であると結ばれました。英語学習に対する固定観念を見直し、学ぶ楽しさと実践する勇気の大切さを改めて考えさせられる、大変有意義な卓話でした。



野村百合子会長挨拶



皆様、こんにちは。本日も例会へのご出席、誠にありがとうございます。

先日、宇都宮北ロータリークラブとの親睦ゴルフ交流会に参加した際、「ロータリーの友」特別顧問・理事の鈴木宏様の講演を拝聴する機会がありました。その中で特に印象に残ったのが、例会の本質についてのお話です。

鈴木様は、例会とは肩書を脱ぎ捨て、会員同士が童心に返って交流する場であり、クラブには「平等」「平和」「おしゃべり」が欠かせないと話されました。また、席を固定せず、多くの会員と知り合う機会をつくるのが大切だとも述べられていました。

当クラブでも席の固定化を避け、会員同士の交流を深める取り組みを

続けています。改めて、その意義を感じた次第です。

話は変わりますが、将棋界のレジェンド・羽生善治氏は、「最も大切なのは負けたときの気持ちの切り替えだ」と語っています。将棋に偶然はなく、結果はすべて自らの選択の積み重ねです。だからこそ、結果を引きずらず、前を向く強さが必要だということです。

人生には登り坂、下り坂、そして“まさか”があります。そのような時こそ、しなやかな心で前向きに歩むことが大切ではないでしょうか。本日も例会を通じて交流を深め、実りある時間にしてまいりましょう。



新会員 石井祐輔さん

2026年（令和8年）6月6日（土）・7日（日） 場所：寒河江市「学びの里 TASSHO」

RYLA ロータリー青少年指導者養成プログラム 研修会



当クラブからは、佐藤久明会員が参加しました

6月6～7日、国際ロータリー第2800地区RYLA「ロータリー青少年指導者養成プログラム」研修会が、寒河江市「学びの里 TASSHO」を会場に開催されました。

当クラブからは、佐藤久明会員と、小野建設さまより渡辺さんという新入社員の方が参加しました。

東北公益文科大のリーダーシップ研修プログラムが大変素晴らしく、本当に充実したリーダー研修会となりました。

RYLA はとても価値のあるリーダーシップ養成プログラムで、未来のリーダー候補をもっと北ロータリーから参加させたい研修会です。次回は山形大学のプログラムで開催予定だそうです。若手教育の一環として皆さんで活用したらいかがでしょうか。



今回、RYLA 研修に参加させていただき、普段では経験できない多くの学びと貴重な出会いがありました。研修を通して特に印象に残ったのは、リーダーシップとは単に先頭に立って人を引っ張ることだけではなく、相手の意見に耳を傾け、一人ひとりの力を引き出しながら信頼関係を築いていくことも大切だということです。グループワークでは、初対面の方々と意見を出し合い、一つの目標に向かって協力することで、自分にはない考え方や価値観に触れることができ、とても刺激を受けました。また、自分から積極的に行動し、一歩踏み出す勇気が新たな学びや成長につながることも実感しました。この研修で得た経験を仕事やロータリー活動、そして日々の生活にも生かし、人とのつながりを大切にしながら成長していきたいと思っています。このような貴重な機会を与えていただいた皆様に心より感謝申し上げます。

佐藤久明会員

RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）とは

ロータリークラブや地区が主催する青少年向けのリーダーシップ養成プログラムです。将来、地域や社会で活躍する若者たちが、自らの可能性を発見し、リーダーとして成長する機会を提供しています。プログラムでは、地域で活躍するリーダーや専門家から学びながら、コミュニケーション能力や問題解決能力、チームワークなど、リーダーシップに必要なスキルを実践的に身につけます。また、講演やワークショップ、グループ活動を通じて、自分自身の強みや価値観を見つめ直し、行動へとつなげる力を養います。中学生・高校生を対象としたリーダーシップ育成から、大学生や若い社会人を対象とした創造的課題解決や職業倫理を学ぶプログラムまで、幅広い内容が用意されています。

未来を担う若者たちが、自ら考え、行動し、周囲に良い影響を与えるリーダーへと成長するための貴重な機会。それがRYLAです。ロータリーは、このプログラムを通じて次世代のリーダー育成を支援しています。（国際ロータリー公式サイトより）



第2721回 2026年（令和8年）6月11日（木） 12:30 PM 場所：ホテルメトロポリタン山形

会員卓話 富塚充会員

6月11日の例会では、富塚充直前会長に、当クラブの姉妹クラブと友好クラブについて卓話をいただきました。

富塚充直前会長に先立ち締結に関わった会員の方に、そのいきさつや概要を説明していただきました。

「ボルダーバレーロータリークラブ」については本多信昭会員。姉妹クラブの締結は2000年、山形市と姉妹都市であるコロラド州ボルダーにあり、締結以来、相互訪問や留学生の交換など盛んな交流が続いています。「日田中央ロータリークラブ」については吉田眞一郎会員。国内に友好クラブを、ということで2012年締結。今年創立50周年ということで記念式典で当クラブからも多数参加しました。「フレロータリークラブ」については伊藤三之バスター。山形大学の留学生であったジャンチブさんとの関わりから、当クラブの50周年記念事業の1つとして友好クラブを締結。ジャンチブさんが創設した「新モンゴル学園」現在は小中高一貫校、高専、工科大学などを擁する総合教育機関となっています。ジャンチブさんは現在、モンゴルの国会議員となり、ますます活躍中です。

続いて、姉妹クラブ・友好クラブについて富塚充直前会長よりその主旨や概要を説明していただきました。

ロータリークラブには、国内外のクラブと交流を深めるための「姉妹クラブ」と「友好クラブ」という関係があります。

姉妹クラブは、異なる国や地域のクラブ同士が正式に約束を交わし、長期的なパートナーとして交流を続ける関係です。会員同士の相互訪問や文化交流に加え、共同で奉仕活動を行うこともあります。国際的な友情と相互理解を育むことが大きな目的です。



ひとつの姉妹クラブ・ふたつの友好クラブと
さかんな交流活動を行っています

Tomitsuka Mitsuru

一方、友好クラブは、より自由で柔軟な交流関係です。国内外を問わず親睦を深め、周年事業への参加や相互訪問などを通じて交流を続けます。姉妹クラブほど正式な取り決めはありませんが、継続的な交流を通じて強い信頼関係を築くことができます。

簡単に言えば、姉妹クラブは長期的な国際パートナー。友好クラブは親睦を深める交流パートナーと言えるでしょう。

こうした交流を通じて、ロータリアンは地域や国境を越えた友情を育み、ロータリーの理念である「奉仕」と「親善」を実践しています。なお、「姉妹クラブ」「友好クラブ」という名称は国際ロータリーが制度として定めているものではなく、各クラブや地区の慣行によって運用されているということです。



本多信昭会員「ボルダーバレーロータリークラブ」



吉田眞一郎会員「日田中央ロータリークラブ」



伊藤三之バスター「フレロータリークラブ」

野村百合子会長挨拶



私は今年度、「出会いが宝、未来につなごう」というメッセージを掲げました。ロータリーには素晴らしい出会いがあります。仲間がいます。そして世界中どこへ行っても、ロータリアンであるというだけで心を通わせ、助け合い、信頼し合うことができます。こうした絆は、奉仕の理想を大切にしてきた先輩方の努力の積み重ねによっ

て築かれてきたものだと思います。私自身、ロータリーに入会して人生が大きく変わりました。さらに会長という大役をいただき、多くの学びと新たな出会いに恵まれています。私は昔から好奇心旺盛で、「はい」か「イエス」でさまざまなことに挑戦してまいりました。日本舞踊や書道、講演活動、そしてロータリーの役職もその一つです。不安を感じることもありますが、そんな時こそ「ピンチはチャンス」と捉え、

自分を成長させる機会としてきました。人生には春夏秋冬があります。若い頃に夢を見つけ、壮年期に歩みを進め、やがて収穫の時を迎える。そしてその先の「玄冬」は、決して終わりではなく、人生の実りを味わう黄金期ではないでしょうか。葛飾北斎は75歳を過ぎてから名作を生み出し、松下幸之助氏も「老いは夢を失った時に始まる」と語っています。

過去は変えられませんし、明日が必ず来る保証もありません。だからこそ、今日という一日、この瞬間を大切にしながら、皆様との出会いを宝として、未来へつないでまいりたいと思います。



新会員 星野高志さん

第2722回 2026年（令和8年）6月18日（木） 12:30 PM 場所：ホテルメトロポリタン山形

「一年を振り返って」 野村百合子会長

この一年間、会員の皆様より温かいご理解と力強いご支援を賜りましたことに、心より深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今年度は、国際ロータリーにおいて突然の会長辞任・交代という大きな出来事から始まりました。そのような中でスタートした一年でしたが、当クラブにおいては、さまざまな事業や活動が無事に終えることができました。また、この一年間、常に私を支え続けてくださった岡幹事には、改めて心より敬意と感謝を申し上げます。会長幹事会などでも「岡幹事は素晴らしい」と多くの方からお褒めの言葉をいただき、私自身も大変誇らしく感じておりました。昨年7月の会長方針では、「出逢いは宝、未来につなごう」というメッセージを掲げました。良き出逢いが人生を豊かにし、人と人とのつながりこそかけがえのない財産であるという思いを込めた言葉でした。そして、その方針の中で掲げた会員数100名達成。この一年で20名（うち6名が女性）の新会員をお迎えし、年度当初88名だった会員数は、現在105名となりました。これは私にとって今年度最大の喜びであり、夢が実現した瞬間でもありました。井上委員長をはじめとする会員増強委員会の皆様、そして会員の皆様お一人おひとりのご尽力の賜物であり、心から感謝申し上げます。一年を通じて、多くの思い出も生まれました。7月のビアパーティー、私も夏の踊りを披露させていただきました。8月の早朝奉仕例会では、「それぞれの最上川物語 Part3」の活動として馬見ヶ崎河川敷の清掃を行いました。9月には、山形市とボルダー市の姉妹都市締結30周年記念式典が開催され、ボルダーバレーRCのスティブ・パリッシュご夫妻をお迎えしました。歓迎の挨拶で英語を話したところ、多くの方が集まって来られ、思わず「I don't speak English.」と返してしまったことも、今では楽しい思い出です。11月にはNPO法人虹のネットワークへの支援活動を行い、施設の皆様と交流を深めることができました。12月のクリスマス家族会には95名もの参加をいただき、笑顔あふれる素晴らしいひととき



となりました。また、新年会では会員数100名達成を祝して「高砂の浦」を舞わせていただきました。3月には7ロータリークラブ親善ボウリング大会で当クラブが上位を独占し、4月には宇都宮北ロータリークラブとの親睦ゴルフ交流会、そして友好クラブである日田中央ロータリークラブ創立50周年記念式典への参加など、多くの交流の機会に恵まれました。特に日田中央ロータリークラブの皆様からいただいた温かい歓迎には、友好クラブとしての深い絆を改めて実感いたしました。さらに5月の「EPIC Day」では、アジア唯一の参加クラブとして「友愛の森」と「やまぶきロード」の清掃活動を実施し、奉仕の喜びを会員の皆様と共有することができました。こうして振り返りますと、すべてが昨日のこのように思い出されます。そして何より、多くの出逢いと多くの仲間を支えられた、夢のような一年でございました。改めて心より御礼申し上げます。最後に、青山年度のさらなる発展とご盛会、そして会員皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げまして、一年を振り返ってのご挨拶とさせていただきます。

本当に一年間、ありがとうございました。

「一年を振り返って」 岡誠司幹事

一年間、皆様に支えていただきながら幹事を務めてまいりました。本日は感謝の気持ちを込めて、この一年を振り返らせていただきます。まず初めに、野村会長のもとで幹事という大役を務める機会をいただきましたことに、心より御礼申し上げます。お話をいただいた当初は、自分に務まるのだろうかという不安もありましたが、入会当時に先輩から教わった「ロータリーの答えは『ハイ』『イエス』『喜んで』の三つしかない」という言葉を胸に、お引き受けいたしました。振り返りますと、各委員長をはじめ多くの会員の皆様が快く役割を引き受け、それぞれの立場でクラブを支えてくださいました。私は至らぬ点ばかりでしたが、水上先生、本多さんをはじめ諸先輩方から温かいご指導をいただき、何とか一年を務めることができました。今年度は、ビアパーティー、早朝奉仕、ボルダー市との姉妹都市30周年事業、虹のネットワーク支援活動、クリスマス



家族会、親善ボウリング大会、EPIC Dayなど、多くの事業が行われました。どの事業も会員の皆様のご協力なくしては成し得なかったものであり、「出逢いは宝、未来につなごう」という会長テーマを実感する一年となりました。また、今年度は20名の新会員をお迎えし、会員数は88名から105名となりました。クラブの歴史に残る成果であり、井上委員長をはじめ会員増強にご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。そして何より、野村会長には一年間本当にお疲れ様でしたと申し上げたいと思います。幹事としてご一緒させていただき、多くのことを学ばせていただきました。最後になりますが、この一年でいただいたご縁と学びは私にとってかけがえのない財産です。会員の皆様の温かいご指導とご協力に心より感謝申し上げますとともに、青山年度のさらなる発展を祈念し、御礼のご挨拶とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。



新会員 五十嵐博子さん



第2723回 2026年（令和8年）6月25日（木） 6：00 PM 場所：亀松閣

「最終例会」



2026年6月25日、2024ー2025 野村会長・岡幹事年度の最終例会が行われました。恒例となった亀松閣での最終例会、野村会長の挨拶でスタート。一年間の感謝を述べられました。幹事報告では新たに武田拓郎さん、河原恵さん2名の新会員の紹介があり、山形北ロータリークラブは2800地区最大の会員数となりました。次年度青山登会長、佐藤修幹事へのバッジの交換セレモニーが行われ、会長幹事のバトンタッチとなりました。

野村百合子会長挨拶

「光陰矢のごとし」と申しますが、この一年は本当にあっという間でした。本日、こうして最終例会を迎えられますことを、心からうれしく思っております。まず初めに、この一年間、私たち「野村・岡年度」を温かく支え、力強いご協力を賜りました会員の皆様に、心より御礼申し上げます。また、何も分からない私を常に支え、励まし続けてくださった岡幹事には、深く敬意と感謝を申し上げます。年度当初に掲げた各委員会の活動計画も、午年にちなんで申し上げれば、どれも実に「ウマク」進めていただきました。そして何より、井上会員増強委員長をはじめ委員会の皆様、さらには会員お一人おひとりのご尽力により、新たに20名の仲間を迎え、念願であった会員数100名を達成することができました。2800地区で最大の会員数を誇るクラブとなったことは、私たち全員の誇りであり、大き

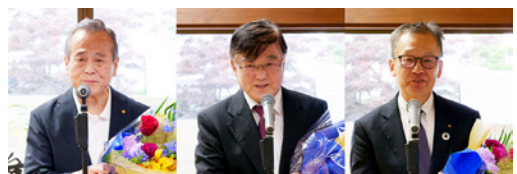
な財産です。私たち「野村・岡丸」は、小さなボートでの出航でした。しかし、皆様という力強い伴走船に支えられ、一度も沈むことなく航海を続け、多くの事業や出会いを経験し、数え切れない学びと感動をいただきました。それらはすべて、私の人生にとってかけがえのない財産となり、心にたくさんの貯金を残してくださいました。本当に一年間、ありがとうございました。



新会員 武田拓郎さん、河原恵さん



出席では岡井誠会員、本多信昭会員が、ニコニコ総額では武田弥栄会員が受賞



惜しくも退会される、石井亮生会員 結城章夫会員、柿崎正樹会員に花束の贈呈

点鐘／18：00 ロータリーレート／1ドル＝160円 ロータリーソング／我等の生業 会長挨拶／野村百合子 本日出席／61名（会員総数105名）

クラブ会報アーカイブ
各例会のニコニコBOXは
こちらのQRコードからご覧下さい

■クラブ会報アーカイブ



■ニコニコBOX

